

食品中の汚染物質に係る基準値設定のための考え方の作成について

厚生労働省健康・生活衛生局食品基準審査課

食品中の汚染物質の規格基準の設定にかかる基本的な考え方を定めるとともに、規格基準が定められていない汚染物質の低減対策について整理するものとして、「食品中の汚染物質に係る規格基準設定の基本的考え方（平成 20 年 7 月 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品規格部会）」を定め、これに基づき実施しているところである。

具体的には食品の国際規格を策定しているコーデックス委員会の規格を考慮しつつ、国内に流通する食品中の汚染物質の汚染実態や食品摂取量等を基に、安全性及び「合理的に達成可能な範囲でできる限り低くするという ALARA の原則」の観点から規格基準の設定等を検討している。

議題 1 である食品中のオクラトキシン A の基準値設定の検討においては、コーデックス委員会における基準値設定の際の国際的な考え方を踏襲している。今回のオクラトキシン A の基準値検討の経験から、食品中の汚染物質における基準値設定のためのより具体的な考え方をまとめるものとして、別紙のとおり「食品中の汚染物質に係る基準値設定のための考え方」を作成することとしたい。

食品中の汚染物質に係る基準値設定のための考え方

食品中の汚染物質¹は、国民の健康に悪影響を与える可能性のある化学物質である。

そのため、リスク管理措置の一つである基準値を設定することによって、基準値を超える濃度で当該汚染物質を含む食品を市場から排除できるようになることや、当該食品の輸出国が基準値を超えない食品のみを輸出できるようになることなどを通じて、国民の健康保護に寄与できる。

平成 20 (2008) 年 7 月、薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食品規格部会は、「食品中の汚染物質に係る規格基準設定の基本的考え方」にて、規格基準設定に関する基本方針を、「コーデックス基準値が定められている食品に対して、わが国の汚染実態及び国民の食品摂取量等を踏まえつつ、コーデックス基準値採用を含めた検討を実施」することと決定した。これは世界貿易機関 (WTO) の SPS 協定の条項 (第 3 条 1 ~ 3) にも整合している。

検討対象となる汚染物質・食品の組合せについてコーデックス基準値が存在する場合には、①国内における汚染物質の含有実態調査 (以下「実態調査」という。) の結果が、コーデックス基準値に整合しており、②コーデックス基準値を適用した場合の国民の経口ばく露量推定値が、当該汚染物質の健康影響に基づく指標値

(Health-Based Guidance Value : HBGV、以下、「HBGV」という。例えば TDI 等) よりも低いことを確認し、わが国の基準値とする。

しかし、経口ばく露量推定値が HBGV より高くなる可能性がある場合や、実態調査における濃度分布からコーデックス基準値の採用が適切ではない場合には、わが国の基準値をより低くまたは高くする必要がある。そこで、わが国で必要な基準値を検討するにあたっては、汚染物質の汚染実態を把握するとともに、国際的に整合する方法で基準値を推定する必要がある。

¹ 食品規格部会では、汚染物質を「かび毒等天然毒素、重金属、金属様元素、内因性の物質から加工等により生成する有機化合物及び放射性物質等、非意図的に食品に存在する化学物質」とする。なお、食品中の放射性物質に関する事項は、放射性物質対策部会にて、動物性食品の規格又は基準 (農薬、動物用医薬品、飼料添加物の残留基準を除く) の設定に関する事項は乳肉水産食品部会にて審議する。また、「General Standard for Contaminants and Toxins in Food and Feed」(CODEX STAN CXS 193-1995)においては、汚染物質とは「食品に意図的に加えられるものではないが、その生産 (農業、畜産、及び獣医療で行われる作業を含む)、製造、加工、調製、処理、包装、梱包、輸送、又は貯蔵の結果として、あるいは環境汚染の結果として当該食品中に存在する物質。昆虫の断片、げっ歯類の毛、その他の異物は含まれない。」と定義されている。

- 1 基準値を設定するにあたっては、対象物質及び対象食品の選定、科学的に有効な
2 実態調査、基準値の検討、並びにばく露量推計を以下の過程に従って実施すること
3 が望ましい。
- 4 ① 実態調査の対象物質及び対象食品の選定
 - 5 ② 統計学に基づく試料採取
 - 6 ③ 分析法の確立と分析値の品質保証
 - 7 ④ 実態調査結果の解析
 - 8 ⑤ 国民の健康保護及び安全な食料の安定供給を考慮した基準値（案）の検討
 - 9 ⑥ ばく露量推計に基づく低減効果等の検証
 - 10 ⑦ 基準値の決定